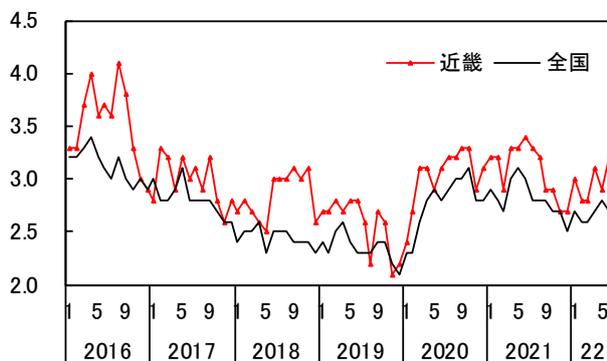


関西の景気ピックス【雇用関連（22年6月）】

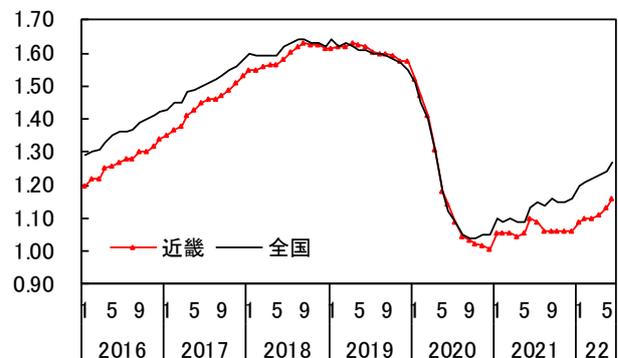
- 22年6月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は3.2%（原数値）と、前年比で0.2ポイントの低下となった。前年を下回るのは10か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で7万人の減少となったほか、失業者も2万人減少し、非労働力人口も2万人の減少となった。失業者が減少となるのは10か月連続である。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、22年6月は1.16倍（季節調整値）と前月比で0.03ポイントの上昇となった。上昇は3か月連続。
- 有効求人倍率や完全失業率の過去数月の推移をみると、概ね改善傾向となっているものの、そのペースは緩やかなものにとどまる。賃金の推移も、直近の動きはプラスであるが、物価の上昇ペースには届いていない。ウクライナ危機の長期化やインフレの進行で企業の経営環境が悪化する中、コロナ禍も再び急拡大するなど、先行きへの警戒が必要な状況となっている。

(%) 完全失業率の推移(原数値)



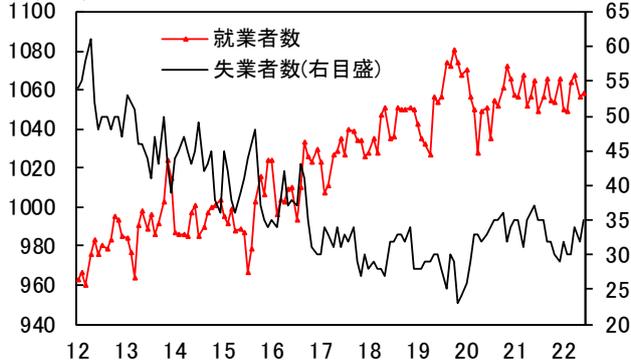
(出所)総務省「労働力調査」

(倍) 有効求人倍率の推移(季節調整値)



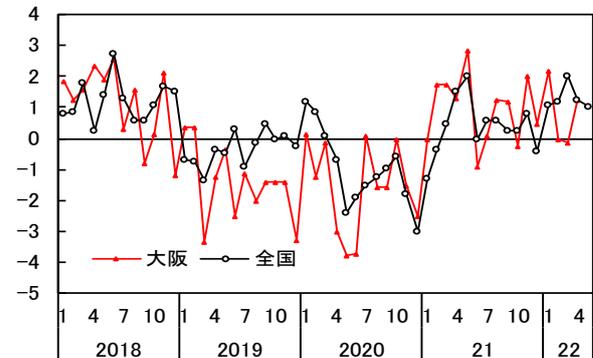
(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」

(万人) 近畿の就業者数、失業者数(原数値) (万人)



(出所)総務省「労働力調査」

(%) 【賃金】現金給与総額の推移(前年比)



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」

本件照会先:大阪本社 荒木秀之
TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp